

小論文（表紙）

氏名	ツガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2023年度 一般入試（秋）

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください(図表添付可)。

論題 1

ある家計の効用水準を u 、財 X の消費量を x 、財 Y の消費量を y 、効用関数を $u = x^a y^b$ (a と b は正の定数)とする。そして、家計は各財を一定量保有しており、財 X の初期保有量を $\bar{x} > 0$ 、財 Y の初期保有量を $\bar{y} > 0$ とする。なお、家計はプライス・テイカーであり、財 X の価格を $p > 0$ 、財 Y の価格を $q > 0$ とする。このとき、次の各設問に解答せよ。(計算過程や考え方も明記すること。)

- (1) 財 X の需要関数と財 Y の需要関数を求めよ。
- (2) 財 X について需要の価格弾力性(財 X 価格に関する弾力性)を求めよ。
- (3) 財 X の最適な消費量がその初期保有量を超過することになる条件を求めよ。
- (4) (3)で想定している状況を無差別曲線と予算制約線を利用して適切に図示せよ。

論題 2

2021年に実施された香川県丸亀市長選挙にみられるように、近年の日本の市町村長選挙では、当選後に某かの「給付金」を地域住民に給付することを公約とした候補者が当選することがある。わが国の市町村は、地域住民へ課される地方税収のみによって地方公共サービスのすべてが提供されているわけではないので、こうした実質的な現金給付は、いわば、他地域住民の租税負担によって賄われているという一面もある。少なくとも、給付を受ける地域住民(たとえば丸亀市民)は、給付金が自分たちの租税負担になるとは考えていないであろう。

こうした実態について具体的な事例(丸亀市以外)を取り上げた上で、わが国の地方税財政制度を踏まえつつ、「共有財源問題(common pool problem)」など公共経済学で用いられる理論を使ってその問題点を論ぜよ。なお、本題へ解答するにあたり、他の文献からの引用や抜粋、あるいは参考とした資料などについては、一般的な論文作成のルールにそって適切に取り扱うこと。さもなくば、提出された文書を盗作とみなす。また、本題については、面接当日の質疑応答の正確さ(理解度の高さ)も重視する。

論題 3

近年の東京では高所得層向けのいわゆる「タワーマンション」の建設が相次いでいる。このようなマンションは主に都心付近に立地する傾向があるが、その理由をアロンゾ・モデルの枠組みに基づいて説明せよ。

論題 4

アジア開発銀行(Asian Development Bank)の以下のサイトから*Asian Development Outlook 2022*をダウンロードして指定箇所(38~47ページ)を読み、ロシアのウクライナ侵攻がアジアの発展途上地域に与える影響についてポイントをまとめよう。この文献が刊行された2022年4月から本専攻への応募時期(22年9月末頃)にかけての5カ月間に起こったことを踏まえ、この文献の予測が当たっている部分と外れている部分について議論しなさい。(合計2000字以内)

“Russia’s invasion of Ukraine: Implications for developing Asia” in *Asian Development Outlook 2022*, Asian Development Bank (ADB): Manila, pp. 38-47.

<https://www.adb.org/publications/asian-development-outlook-2022>

【注意事項】

この表紙と記入用紙1~3をホチキス留め(左上)して提出してください。

* 選択した論題の欄に○を記してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4

※記入不要
